

様式 1

(記入例)

令和5年度 地産地消推進協議会 派遣事業 応募用紙
(施設給食における地場産物の利用拡大)

記入日：令和 5年 7月 28日

I 応募者について

組織名	〇〇市地産地消推進協議会
代表者名	(部署名・役職等) 会長 ふりがな 〇〇 〇〇 (氏名) 〇〇 〇〇
主担当者	(部署名・役職等) 〇〇市地域振興課 ふりがな 〇〇 〇〇 (氏名) 〇〇 〇〇
副担当者	(部署名・役職等) 〇〇市地域振興課 ふりがな 〇〇 〇〇 (氏名) 〇〇 〇〇
住所	〒123-4567 ▲▲▲県■市〇〇〇1-2-3
TEL	〇〇-1111-2222
FAX	〇〇-3333-4444
メールアドレス	★★★★@△△△.△△.jp
派遣先までの交通経路	※最寄り駅、空港、バス停等から、派遣予定場所までの交通経路をご記入ください。 〇〇市役所 経路: 〇〇空港より、〇〇行きバス乗車(★★交通) 〇〇バス停下車。バス停より徒歩3分 所要時間: 〇〇空港より約1時間

※ 連絡調整は、メールと電話を中心に行います。本件にかかる連絡調整の実務を担当される方のメールアドレス、電話番号は必ず明記してください。

※ 応募内容に関する参考資料があれば添付してください。

※ 交通経路は、公共交通機関での経路を記載してください。

※以下、様式の枠にとらわれず、具体的にご記入ください。

Ⅱ 応募内容について

1 応募の主な理由について、該当するものに○印をつけてください。

	応募の主な理由	○印欄
(1)	地場産物利用について、関係者の理解を深めたい。 (機運を高めたい、地場産物利用のきっかけを作りたい、など)	
(2)	現状の課題を整理して、地場産物利用を増やしたい。	○
(3)	具体的に解決したい課題がある。	
(4)	その他 (具体的に：)	

2 応募者の地場産物利用についての現状と課題、この事業で目標としたい内容等を以下にご記入ください。

(1) 地場産物利用の現状と課題

- ・これから、地場産物を給食に活用したいが、そのように進めたらよいか、模索している。
- ・地場産物を供給元が多岐にわたるため、連絡調整が煩雑である。
- ・地場産物の生産量や品質が不安定で、安定的に食材調達できていない。
- ・自校方式からセンター方式へと統合され、食数が増えて必要量の確保できていない。
- ・給食での使用品目や使用量が増やせない。
- ・地元生産者と栄養士や子ども達との交流の機会がない。話し合いの場がない。
- ・地場産物が高くて使えない。
- ・現状の地場産物利用は、担当者や生産者の意欲に依ることが多く、地域全体の仕組みとして確立していない。

等

(2) この事業での目標、課題解決したい内容

- ・目標の地場産使用率に近づけたい。
- ・給食で使用できる地場産物の規格を拡げ、供給量を拡大したい。
- ・課題を整理して、関係者との話し合いの場を設けたい。
- ・給食に使用できる新たな地場産物や地場産加工品を掘り起こし、給食に取り入れたい。
- ・食材供給に協力してくれる生産者を増やしたい。
- ・地場産物利用を意識した調理や献立など、具体的な指導をしてほしい。
- ・納入ルートを見直して、使用できる地場産物を増やしたい。
- ・給食で活用できる地場産加工品を開発したい。等

3 下記の内容について、「はい」に該当するものに○印でお答えください。

	項 目	○印欄
(1)	給食での地場産物利用状況が分かる資料やデータがある。 (地場産物の年間使用品目、使用量、月ごとの使用品目や使用量の状況など)	
(2)	地域の地場産物の生産状況(生産品目の種類・収穫の時期・収穫量等)がわかる資料やデータがある。(出荷カレンダー、栽培計画、生産振興計画など)	○
(3)	地産地消や地場産物利用を進める協議会や組織等がある。	○
(4)	給食における地場産物利用を進める会合や打合せ等がある。	○
※「ある」とお答えの場合、開催頻度をご記入ください。(<u>年1</u>) 回程度		
(5)	地場産物の供給体制について	
	① 市町村全体を網羅する地場産物の供給組織や供給体制等がある。	
	② 調理場ごとに、地場産物を供給する組織や生産者がいる。	○
	③ 地場産物の供給は、主に一般の企業や商店等が担っている。	
	④ 上記①～③に当てはまらない場合は、以下にご記入ください (_____)	
(6)	行政以外からの応募者にお伺いします。 地場産物利用について、これまで行政との連携がありますか?	○

4 その他、補足する内容等がございましたら、ご記入ください。

Ⅲ 希望する時期・内容・コーディネーター等について

※各回の希望内容を具体的にご記入ください。

※コーディネーターについて、特に指名が無い場合は、希望する専門分野をご記入ください。

(第1回目)

派遣希望時期	2023年10月
希望する指導内容	①地域の推進会議への参加、助言 ②給食関係者への個別ヒアリングによる課題整理
参集者・派遣対象者	生産者、給食関係者、JA、加工業者、商工関係者 等
派遣希望のコーディネーター、又は専門分野	・給食での地場産物利用に詳しい方 ・給食用農産物(野菜)の生産振興に詳しい方 ・〇〇〇〇氏 等

(第2回目)

派遣希望時期	2023年12月
希望する指導内容	①調理や献立作成等への助言 ②給食で使用できる地場産物の掘り起し
参集者・派遣対象者	給食関係者、生産者、JA、行政 等
派遣希望のコーディネーター、又は専門分野	・地場産物利用の給食に詳しい方 ・地場産物献立作成の実践者 ・〇〇〇〇氏 等

(第3回目)

派遣希望時期	2024年1月
希望する指導内容	①地場産物を利用したメニュー開発・提供（生産者との給食交流会） ②地場産物メニュー提供の成果まとめ 等
参集者・派遣対象者	生産者、給食関係者、JA、加工業者、商工関係者 等
派遣希望のコーディネーター、又は専門分野	・地場産物利用の給食に詳しい方 ・地場産物献立作成等の実践者 ・〇〇〇〇氏 等

IV 派遣に関わる給食施設について

取組状況、使用品目・量(都道府県内産及び市町村内産)等、様式の枠にとらわれず、具体的にご記入ください。

① 給食提供事業者名・給食提供地	
(事業者・提供施設名) <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇市学校給食センター ・〇〇病院 ・〇〇〇園 等 	
(事業者・提供施設の概要) ※提供箇所、運営方法、年間稼働日数など <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校、中学校2校、保育園3園に提供。年間稼働日数は約240日で、調理・配送・洗浄については、民間委託で運営している。 ・献立は当院栄養士がたて、調理は民間委託で運営している。 ・献立、調理、洗浄まで、全て自社で運営している。等 	
② 一日の提供食数(食) ※一日に複数回の提供がある場合は、それがわかるようにご記入ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・約〇〇〇食 ・1日の食数(朝・昼・晩)で約〇〇〇食 等
③ 一食あたりの食材費(円) ※一日に複数回の提供がある場合は、それがわかるようにご記入ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・1食あたり、〇〇〇円 ・1か月、〇〇〇円 等
④ 地場産物としている範囲 ※該当するものに○印をつけてください。	
同一市町村内産 ・ 同一区内産 ・ <u>同一都道府県内産</u> ・ その他	
⑤ 現在の地場産物の使用頻度 ※該当するものに○印をつけてください。	
ほぼ毎日 ・ 週に1~2日 ・ <u>月に数回</u> ・ 季節ごとに数回 ・ その他	
⑥ 現在使用している地場産物の主な品目 ※最大10品目程度ご記入ください。	
じゃがいも、たまねぎ、人参、キャベツ、小松菜、青梗菜、長ねぎ、大根 手作り味噌、豆腐、ジャム 魚、豚肉 等	
⑦ 使用食材全体での地場産物の割合 (調査が無い場合には、記入は不要です。) ※集計のベースや算出方法も記載してください。 ※学校給食の場合、「学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査」での地場産物・国産食材の使用率についてもご記入ください。	
(例) 令和4年度 年間使用量(重量ベース) 県内産40% うち町内産20%	
令和4年度の町内産年間使用量(重点10品目・重量ベース) 40%	
学校給食栄養報告(金額ベース) 60%	
⑧ 現在、地場産物の利用拡大に向けて進めている取組についてご記入ください。	
<ul style="list-style-type: none"> ・給食に関する助成 ・JA等による給食用新規品目の栽培技術指導を実施 ・加工品の開発検討(野菜の一次加工、味噌・漬物づくり) ・地場産物を使った献立コンテストと入選作の給食提供を実施 等 	